

2016 - 2017年度

国際ロータリー第2790地区第12分区

# 松戸北ロータリークラブ



ロータリー：  
変化をもたらす

## 四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1・真実かどうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるかどうか

第2175回 第12分区5クラブ合同例会 2017年10月20日(金)

国際ロータリー会長 イアン H.S. ライズリー  
第2790地区ガバナー 寺嶋 哲生  
第12分区ガバナー補佐 安藤 俊雄  
松戸北ロータリークラブ会長 平田 洋一  
松戸北ロータリークラブ幹事 大川 高明

例会日 - 2017年10月20日(金)  
例会場 - 松戸商工会議所5F  
事務所 - 松戸市八ヶ崎1-11-13 サンライズハイツ101  
TEL/FAX - 047-711-5950 / 047-711-5910  
Web/Mail - [www.rc2790-12.jp](http://www.rc2790-12.jp) / [kanji@rc2790-12.jp](mailto:kanji@rc2790-12.jp)

# WEEKLY REPORT



## ロータリー： 変化をもたらす

### < 第12分区 5 クラブ合同例会 >

12:00 集合 司会 松戸東RC幹事 谷口 雅樹  
合同例会  
12:30 点鐘 松戸中央RC幹事 長江 曜子



国歌並びにロータリーソング【 奉仕の理想】斉唱

来賓紹介 松戸RC幹事 太田原 慎一

クラブ会長挨拶 松戸東RC会長 大越 竜美  
松戸RC会長 松田 茂一  
松戸北RC会長 平田 洋一  
松戸中央RC会長 佐藤 清  
松戸西RC会長 谷口 義紀

12:50 地区奉仕プロジェクト委員会 所属3委員会報告  
奉仕プロジェクト統括委員会 委員長 石井 弘

13:05 ニコニコ発表 松戸北RC幹事 大川 高明

13:10 点鐘 松戸RC会長 松田 茂一

13:20 情報研修会  
司会 ガバナー補佐幹事 蔵本 一夫  
13:35 開催運営趣旨説明 ロータリー研修委員会 宮内 龍雄  
13:40 基調発表  
テーマ「ロータリーであることを誇りにしよう」  
理念研究委員会 山本 衛

14:20 テーブルディスカッション

15:10 全体発表

15:45 総評・講評 第12分区ガバナー補佐 安蒜 俊雄

16:05 閉会 ガバナー補佐幹事 蔵本 一夫

## <松戸北RC会長挨拶：平田洋一>

皆さん こんにちは

本日は、合同例会及び合同研究会の設営をいただきました「松戸東クラブの皆様」には、北クラブを代表いたしまして厚く御礼を申し上げます。

また、第2部の地区合同研究会では、他クラブの情報や考え方を参考にして「楽しいクラブ造りと運営」につなげて行きたいと思います。”何卒、ご指導の程お願い申し上げます”



さて、松戸北クラブの近況報告ですが

先月、9月13日には、我がクラブの並木研修リーダーによる、第1回クラブ研修会を実施いたしました。

今月、10月11日には、社会奉仕委員会主導による、地元小中学校のなかよし学級生を迎えた「恒例の芋ほり大会」を開催いたしました。

生徒と保護者が150名と当クラブ20名の参加により、総勢170名の社会奉仕活動になりました。今年は、雨が降って欲しい6月に振らなく、8月の長雨で芋の作付けが悪く、例年ですと抱えきれないほどの芋を収穫できるのですが、芋が出来ている場所と出来ていない場所があり均等に分けられない状態でしたが、淵上社会奉仕委員長の采配で掘った芋をみんなでいったん真ん中に集め均等に割り振ることができました。汗をかき知恵をだし、手作りの社会奉仕活動となりました。

また、10月25日には、米山梅吉記念館へ訪問予定となっております。米山梅吉奨学会委員会の渡邊委員長が主導となり並木研修委員長と共に会員に理解しやすい企画を考えて頂いております。

翌月、11月1日には、松戸西クラブと親睦を兼ねた合同例会を実施いたします。ゲストに元阪神タイガースの上園啓二氏を招いてプロ野球の裏話やプロの投球を目の前で体験するイベントを企画しています。

他クラブのメイキャップも大歓迎です。

野球ファン・阪神ファン方がいらしたらメイキャップに来ていただき親睦を深めて頂ければと思います。

ちなみに、メイキャップ料は3,000円と飲み放題2,000円となります。

以上会長挨拶とさせていただきます。ありがとうございました

< 地区奉仕プロジェクト委員会 所属3委員会報告：石井弘委員長 >

### 「職業奉仕委員会」のPR



12分区のロータリアンの皆様こんにちは。

地区職業奉仕委員会のPRとして12分区の情報研修会へ訪問させて頂きました、柏南ロータリークラブの猫田です。

本日は貴重な情報研修会のお時間を頂戴いたしまして、ガバナー補佐の安藤様には大変感謝申し上げます。

さて、本年度の奉仕プロジェクト委員会は、昨年同様 職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕の三委員会が連携しながら、クラブの奉仕活動を活発にするためのお手伝いをする役目を、本年度ガバナーであります寺嶋ガバナーから頂いております。

なぜ、ロータリアンとして忘れてはならない職業奉仕が、社会奉仕、並びに、国際奉仕とともに活動するのかという疑問から、まず確認していきたくと思いますが、今まで、あまりにも職業奉仕を理念的なものとして、むずかしく考える傾向にありました。本当に難しいのでしょうか。

余り難しく考えずに、もっと実践的に考えてみませんか。

日頃からご自身の職業に応じてできる事、また 周囲に対する気配りがロータリアンの皆様できていますか。如何でしょうね。

誠実に、また高潔性をもって地域の皆様へ、また、事業所で接している方々に行うことそこから生まれる信用・信頼関係、それが職業奉仕だと考えています。それがまた事業にも反映されてまいります。

実に簡単な事ですね。

地域社会に対する気配りが社会奉仕であり、世界に対する心配りが、国際奉仕の出発点となるはずです。

すべて、ロータリアンの皆様 御自身が、誠実に仕事をされているからこそ、他者に寄り添うことができると思います。そしてそこに心の豊かさも生まれると考えています。

社会奉仕、国際奉仕や職業奉仕もその出発点は心の豊かさ である筈ですね。

相手を思う心、「すなわちサービス(service)です。」

「最も良く奉仕をするもの 最も多く報いられる」

「最も良くサービスするもの 最も多く得るものが多い」ではないかと思いますが如何でしょう。

職業奉仕は、社会奉仕や国際奉仕とは違い、例年目的をたて、年度の活動を終了して完了ではなく、日頃の事業所に於いて、または地域において活動する事が大切です。

皆様のクラブに訪問し、少しでも 解かりやすくお伝えできればと考えています。

皆様のクラブに於いても 是非職業奉仕について 語り合っ見て頂けましたら嬉しく思いますね。クラブ内に於いてもロータリー歴の違いによっては職業奉仕への理解が違うとも思います。

現在 職業奉仕委員会への卓話依頼は早くも 8クラブから依頼が届いています。

本日は皆様に奉仕プロジェクト委員会のPRの資料をお持ちさせて頂きましたが、

その最終項に卓話依頼書がございますので、是非職業奉仕の卓話希望と明記して頂きましてガバナー事務所にお送り頂けたら嬉しく思います。

皆様のクラブからの卓話依頼をお待ちしておりますので、どうぞ宜しく御願いを致します。

「

## 「社会奉仕委員会」のPR

皆さんこんにちは。 社会奉仕委員会の 中澤 です。

柏ロータリークラブに所属しております。

本日は貴重な時間を割いてくださり、ありがとうございます。

さて、皆さんは今年のR Iのテーマをご存じでしょうか。

そうです。「ロータリー：変化をもたらす」です。

今年のイアン・ライズリーR I会長は、奉仕活動を行うことの重要性を訴えています。そして、奉仕を通じて人々の人生に変化をもたらせることができる、つまり誰かの人生をより良くすることができる、という信念から、「ロータリー：変化をもたらす」という今年のテーマが生まれたと聞いています。それだけ、ロータリーの奉仕活動に力を入れています。

これを受けて、今年の社会奉仕委員会は、変化というキーワードから、「社会奉仕活動：変化に挑戦」と銘打って、皆さんにこれまで以上に、奉仕活動を積極的に、活発に行っていただきたい。そのためのお手伝いをさせてください。と申し上げております。そして、その視点に立って、奉仕活動をしていただくためのPR活動と、奉仕活動を行っていただくための支援を実施してまいります。是非私たち社会奉仕委員会に声をかけてください。

そしてこの奉仕活動を行うために地区補助金を使っていただきたい、というお願いもしております。ご存じとは思いますが、地区補助金の申請と、事業の実施は、ロータリーの事業年度をまたいでいます。つまり、次年度予定している事業の補助金は今年度に申請する必要があるということです。会長幹事の皆さんは、会長エレクト、副幹事、次年度奉仕プロジェクト委員会予定者の皆さんと相談をして、早めに事業計画を立てて、申請の準備をしてください。

とはいっても、すでに奉仕活動をいっぱいやっていて、これ以上は無理だと考えていらっしゃる方もいるのではないのでしょうか。そうであれば、現在行っている奉仕活動に磨きをかけてみてはどうでしょうか。

まず、今行っている事業を次の観点から見つめ直してみてください。

その奉仕活動は地域のニーズ合っているでしょうか。

その活動はロータリーの活動としてふさわしいでしょうか。

そしてその活動がすばらしければ、多くの人や団体をその活動に巻き込んで、いずれはその活動をその人たちに委譲し、ロータリーはまた新しい活動を立ち上げてはどうでしょうか。

このようにして活動をブラッシュアップしてください。そこにも地区補助金は使えますので、是非申請をしてください。

つぎに、皆さんは自分のクラブの奉仕活動に積極的に参加しているでしょうか。また、委員長として奉仕活動を実施するとき、継続事業だということで、惰性で行っていないでしょうか。委員長が情熱を持って、事業に取り組み、クラブの皆さんが積極的に奉仕活動に参加して、初めてその事業は成功します。奉仕活動には皆さん積極的に参加しましょう。

積極的に参加すると、奉仕活動に対してここはこうした方がいいとか、あそここうした方がいいといったアイデアが生まれたり、また奉仕を受ける側の気持ちになれたり、いろいろなことが見えてきます。

それを続けて行くと、奉仕という精神が備わってきます。奉仕という目で、社会が見えるようになってきます。人に優しく、心に余裕を持った、信頼される理想のロータリアンになりますので、さらに、人々の生活に変化をもたらす奉仕活動を計画して、実行に移してください。

変化に挑戦してください。一步踏み出してください。よろしくお祈りします。

最後に、年次寄付のお願いです。地区補助金の原資は年次寄付です。今年の年次寄付の50%が3年後、地区財団活動資金として戻ってきます。地区補助金はその中から振り分けられます。どんどん寄付をして、どんどん地区補助金を使いましょう。ロータリーを活性化しましょう。

社会奉仕委員会の発表は以上です。ご静聴ありがとうございました。

## 「国際奉仕委員会」のPR

地区国際奉仕委員会の浅野です。本日は貴重なお時間を頂きましてありがとうございます。さて、皆様が「ロータリーって何？」という質問に対し、手短かに説明するとなった場合、どのように答えるでしょうか。1つの模範解答としては、「ロータリーでは友人、家族、地域社会の人々と一緒に地元地域や世界に変化をもたらすような活動ができる」という答え方があるかと思います。

そこで改めて国際奉仕という言葉を考えてみますと、何か遠い話のような、ちょっと手の出しにくい奉仕事業のように思われます。しかしですが、それゆえにほとんどの方にとってロータリー以外では関われない事業という事になります。だからこそ国際奉仕プロジェクトは参加者がより意欲的になり、これまでに海外奉仕に参加したことの無い会員の達成感や自信につなげる事ができます。ひいてはクラブが活性化し、また活動を通して、入会見込み者に出会える可能性も高めることができるかもしれません。海外につながりのある会員のネットワークを生かせる点からも、ロータリアンであることを実感する奉仕とも言えます。

本年度の国際奉仕委員会スローガンは、「多くの《夢の懸け橋》で地域に存在感のあるロータリークラブに」であります。我々の2790地区は日本の空の玄関口である成田空港を擁し、海と自然に囲まれ、東京に隣接した地域です、こうした地の利を生かし、スローガンの通り、海外との『夢の懸け橋』を地区内で多く架けて頂くきっかけを作れるよう、国際奉仕に躊躇されているクラブ、構想を温めているクラブへの立案、実施に向けサポートして参ります

しかしながら、やはりそうしたとっつきにくさと申しましょうか、昨年度実施したアンケート結果によれば、国際奉仕は「補助金制度のハードル高い」、「事業内容をクラブ内で企画検討できない」というクラブが全体の60%にもなっているそうであります。そうしたクラブには海外にまで足を運ばなくても、目や手の届く範囲での、身近な地区補助金を活用した事例をご紹介して参りますので、どうぞ遠慮なく地区の委員会にまでお声をおかけ頂ければと思います。

続いて地区委員会から皆様へのご提案がございます。各クラブの国際奉仕委員会におかれましては、台湾なら台湾、スリランカならスリランカと、各クラブが各国に、それぞれ奉仕しておられると思います。そこで、私ども地区委員会では、これらの現在の活動や、これから事業を取り組もうとしているクラブや会員が、地区内を横断して、定期的に情報交換ができる機会を作ればと考えております。

地区内で、携わっている国や地域を同じくするクラブのご担当者が一堂に会して情報交換を行って頂くとか、また、その際には地区内のどなたでもご自由に参加できる会合を定期的で開催できれば、国際奉仕へチャレンジする壁も低くなると考えます。これに関する提案などございましたら参考にさせていただきますのでご遠慮なくご連絡ください。本日ご参加の皆様からの提案もございましたら参考にさせていただきますのでご協力をお願いします。

本年度の国際大会は来年6月、カナダのトロントで開催されます。

世界大会を、国際活動に一步踏み出す、きっかけとして参加されることをお勧めします。

国際大会に参加された方々からは、  
世界大会に参加しなければ経験出来ない感動と、  
国際ロータリーの大きな存在意義を感じることができると聞いております。

12分区全てのクラブの方々の世界大会へのご参加をお願い致します。

# WEEKLY REPORT



人類に  
奉仕する  
ロータリー

**米山梅吉 (UMEKICHI YONEYAMA) 10月**



1920年世界855番目のRC(東京RC)を創立し、日本に初めてロータリーを導入した。東京RCの初代会長に就任し、日本のロータリーの発展の基礎を築いてくれた偉大な人である。